

聖カタリナ大学
聖カタリナ大学短期大学部

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		聖カタリナ大学		設置者名	学校法人 聖カタリナ学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
人間健康 福祉学部	社会福祉学科 社会福祉専攻	60人	高一種免(公民)	平成20年度	57人	2人	1人	1人
			高一種免(福祉)	平成20年度			1人	
	人間社会学科	50人	中一種免(社会)	平成26年度	44人	0人	-	0人
			高一種免(公民)	平成23年度			0人	
	健康スポーツ学科	60人	中一種免(保健体育)	平成26年度	-	-	-	-
高一種免(保健体育)			平成26年度	-	-	-	-	
入学定員合計		170人	合計		101人	2人	2人	1人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

大学名		聖カタリナ大学短期大学部		設置者名	学校法人 聖カタリナ学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
	保育学科	100人	幼二種免	平成13年度	105人	92人	92人	29人
入学定員合計		100人	合計		105人	92人	92人	29人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成27年11月25日（水）

実地視察大学：聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部

実地視察委員：和泉研二委員，佐々祐之委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等について，教職課程認定基準等の観点ではおおむね問題無く実施されているものの，一部では是正すべき点も確認された。今後教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 人間健康福祉学部の教育研究目的である「健康福祉社会づくり」に幅広く貢献する教員の養成という教員養成に対する理念・構想を示しているが，それを具現化するための教職課程に対する全学的な組織，教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。具体的には既存の「教職課程委員会」の組織体制や，短期大学部で実習を担当する教員組織との連携を充実することについて今後御検討いただきたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

- 教育課程について，4年間（短期大学部では2年間）を通して教員養成を行うことに鑑みた系統的な編成を行うように努めていただきたい。特に，教職に関心のある学生が早い段階から教職の魅力や教員としての適性等を把握する観点から，「教職の意義等に関する科目」の配当年次について御検討いただきたい。
- シラバスの記載内容及び記載方針をチェックする体制として，教員のファカルティ・ディベロップメントを活用することについても御検討いただきたい。

3. 教育実習の取組状況

- 教育実習は，大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から，学生の母校における実習ではなく，可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。
- また，単に実習校を確保するだけでなく，実習先の学校と連携し，大学として責任を持って教育実習に関わる体制を構築することが重要であることに鑑み，今後，地元教育委員会や学校との連携を進めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 教職を希望する学生に対する履修相談が個別的な対応であることが確認された。今後は、履修相談や教員採用試験対策が行いやすいような例えば教職支援室のようなスペースの確保を行い、全学的な教職指導に取り組んでいただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 短期大学部においてボランティア活動が盛んであることや、大学に学生ボランティアセンターが設けられていることなど、学生がボランティア活動に参加するための体制の整備が確認された。
- 今後は、大学と短期大学部が課題を共有しながら、積極的に教育委員会や学校現場と連携し、学校現場体験や学校支援ボランティア活動を充実させていくことが望ましい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 幼稚園教諭養成に係る施設（特に音楽関連施設）や、体育関連施設について整備・充実している状況が確認された。
- 図書については、特に中高の教科に係る教科書や学習指導要領等の教職関連図書について、配架状況を再度確認し、今後充実に努めていただきたい。また、ラーニングコモンズにおける教職に係る必要資料の充実も御検討いただきたい。

7. その他特記事項

- 短期大学部において、子育て支援ひろば〈ぽけっと〉や附属幼稚園を通じて地域に貢献していることが確認された。今後は、教員養成や免許状更新講習の実施を通じた地域貢献についても期待したい。